

令和7年度タウンミーティング懇談録（豊里）

日時：令和7年6月28日（土） 10:00～11:30

場所：上郷児童館 図書室

参加者：市長 ほか 参加者9名

<懇談録>

○参加者1

今日は本当にありがとうございます。とてもよく市長のお考えがわかりまして、ありがたいということだと思っております。それで、今日は1点ずつということなのですが、交流センターと、市民ホールとよさとはやっぱり別になりますかね。

●市長

まあまあ大丈夫ですよ、大体で。そんな今日たくさんいらっしゃらないから、はい。

○参加者1

じゃあ、交流センターの所長さんもいらっしゃいますので。上郷道角の参加者1と申します。よろしくお願いします。交流センターで飲食ができなくなったのは、調理室は別なんですけれども、和室とかは22年度までは使えてたと思うんですが、その後、飲食、特に食の方ですね、食事はできないという形になってしまってるんですけれども、やっぱり懇談会とか、親密にお話を進めるにはちょっと、食、できる場所があればいいかな、ただし後の清掃とかね、それは使った者が責任を持ってやるということで、その辺を一つお尋ねしたいのと、もう一つ、市民ホールとよさとなのですが、694席確保されているんですけれども、駐車スペースが200台分しかないということで、催し物をするときの、何て言うんですか、参加人数に制限をせざるを得なくなりまして、昨年のカテリーナさんの講演会も250名限定ということになりまして、そうしますと、あらかじめ希望者を募らないと、何名いらっしゃるかわからないってということでは困るという話になりまして、その辺せっかく大きなホールありますので、できるだけ私としては豊里に住んでる、上郷に住んでる者としては、豊里の市民ホールを利用していただければと。そういう大きな催し物の場合には、どこか別に駐車スペースを確保できるような形をとっていただけるとありがたいなと思うんです。この2点

です。よろしくお願いします。

●市長

はい。ありがとうございます。あの、交流センターで食事ができるようにやっばりしたほうがいいんじゃないのという話は、実は以前からしていて、今日もこれ、見えにくいからあれですけど、フリースペースをすべての交流センターに作ったんですね。部屋ではなくて、ああいう場所ですよ。ロビーであったり。そういう所ではもう基本自由にしたり、おしゃべりもしてもらってもいいしっていうそういう居場所は、一応すべての交流センターに作ったんです。部屋の中もいいんじゃないのっていう話を実はその時からしたんですけど、結構その後片付けはしていただくんですけど、臭いがかなり残るケースが多いようなんですね、とりわけ例えば、外国の方が料理したものとかだと、なかなかこう、何かこうこびりついてしまってしばらくにおいが消えないみたいなことがあったりして、まあ確かにそれはちょっと難しいところだなと。ただ、だからせめてまずフリースペース。交流センターのロビーとかだったら自由にお話したり食べたり飲んだり、勉強してもいいし、何してもいいというような場所を作っています。ただ、きっとね、団体とかでね、集まった場合だとなかなかそこだけでは足りないでしょうから、まあそれだけはちょっと調理室をなんとか使っていただいているということになってしまうのかなと思うんですけども。私も、食べられるようにしたいんですが、ただ、実際運用を考えると、確かにそれなりに、どっかで線は引かなくちゃいけないから、まずは調理室使っていただくしかないかなって、まあ調理室はそこまで予約はいっぱいにはならないかなと思いますけれども。というような状況なんですよ。申し訳ないんですけども。

○豊里交流センター所長

市長ちょっとよろしいでしょうか。今の交流センターなんですけども、飲食可能になってます。飲食できないのは図書室と、2階の視聴覚室、その2か所以外、通常の会議室とか研修室とか和室とか、すべて飲食可能になってます。

●市長

あれ、結局したんでしたっけ。結構、現場から厳しい声があって、難しいかなみたいな話をしてたけど、つい最近？

○豊里交流センター所長

もう、いや、結構なってから経ちます。全交流センター、可能かなっていうのを調査して、可能な限り、ほぼほぼすべての交流センター。

●市長

そう、やったらいいじゃんって話はしたんですけど…

○豊里交流センター所長

今可能になってます。

●市長

何か、でもやってましたよね。結構担当課と僕ら結構何度もやり取りをして、いやもうちょっとやったらいいじゃん、だめじゃんみたいな話があったんですけど、まあできてるなら全然いいですよ。

○豊里交流センター所長

ただ飲食店から出前を取るとか、そういうのは駄目で、基本的に持ち込みのお弁当っていう形にさせていただいているんですけど、それはもう、今申し上げたような、視聴覚室と図書室以外はOKです。ただ、市民ホールの方は、ああいう形状なんで、市民ホールの方はいまだにちょっと御遠慮いただいているんですけど、交流センターの方はそういう形で対応させていただいてます。

●市長

よかった。それはよかったですね。そういう認識でした？（秘書課長）さん。なんか結構頑張ってやりとりしてくれたもんね。

○豊里交流センター所長

張り紙もしてありますので…

○秘書課長

なんかすごく臭いがきつくて厳しいっていう、全部に開放は厳しいっていう話を私たちは聞いていたので、検討してくださったのであれば。

●市長

まあ、進んだなら良かったけどね。結構抵抗されてたんですよ。

○豊里交流センター所長

ただ目的がね、飲食が目的とかはちょっと駄目なんですけど、会議が昼間またがっちゃうとか、そういうので飲食っていう。あそこでパーティーをやるとか、

お誕生会をやるとか、そういう目的はもちろん駄目なんですけども、本来の使用の目的で、その間、時間がまたがっちゃうんで、ちょっと食事とかとるよっていう。これを、こういう観点の使用法はOKになってます。

●市長

柔軟に運用してるならそれでいいんですけどね。全然いいですよ。全然いいのでちょっとほら、ちょっと全体的な確認しておきますので。はい。よかったです。前向きに現場でやってくれてるなら、それはそれでほんといいことだなと。どんどんやってください。こっちはやって欲しかったんで。駐車スペースねえ。そうですよね。確かに。近くにスペースありますか、何か。借りられそうな場所とか、

○参加者 1

有料の駐車場でもあればいいんですけども、豊里の場合は、近くにそういうものがないもんですから、22年度にカテリーナさんのコンサートのときは、豊里中学にお願いしまして、実行委員だけの車をちゃんとわかる、誰が使うっていうのがわかる、そういう人だけ2時間程度貸していただけるようお願いにあがって、許可いただいたりもしたんですけども、一般の方が利用できるような形で、ここもOKですよっていうのが、示すことができれば、どなたでもいらしてくださいと言う形で、あらかじめやっぱり希望を取るとなると、いろんな制限がありましてですね、難しい。

●市長

ちょっとどういうことが可能かとか、それこそ学校、まあね、土日はそんな学校も使わないでしょうし、とか、

○参加者 1

もし学校がね、豊里中学校の方がそういう駐車スペース、何台ここだけ、何台分可能とか、あるいは給食センターの、スペースをお借りできるとか。

●市長

そうですね、周りに公共施設いくつかありますから、ちょっと地図を見ながら、どんなことができるか考えてみて、確かにね、確かにあそこなかなか車じゃないと厳しいですからね。駅前とは違いますから。

○参加者 1

せっかくいいホールですのでね、できるだけ利用していただければと思います。

●市長

わかりました、ありがとうございます。ちょっとちゃんとどんなことができますか、図面見ながら考えてみたいと思います。給食センターなんか土日は全然いいと思いますけどね。そこでも駐車台数、まあ大きな車の乗り入れとかあるからできないことはない気もしますけどね。わかりました。ありがとうございます。

○参加者 2

上郷の参加者 2 と申します。こちらは上郷小学校の緑のボランティアをやっておりまして、緑のボランティアは祖父母の人たちが集まって、学校の校庭や花壇などの草刈りなどをしているのですが、学校の垣根の外に花壇があるんですね、その花壇までの水道の蛇口がなくて、長いホースを繋いでやっているのです、その、水道の蛇口を作って欲しいということをお願いしにあがりました。もうちょっと、10 年ぐらい学校のボランティアをやっていて、最初の頃は 30 人ぐらいいたんですが、ただ今はちょっと、13 名ぐらいになっておりまして、どうしても、長いホースをつないでいるのをグルグル丸めたり、それから伸ばしたりするのに、ちょっと手間がかかっている、近いところに水道の蛇口が欲しいなと思ひまして今日は来ました。そして男女、ボランティアの人たちがいたんですが、今年は、男性の方がゼロになりまして、男性の方は、草刈り機を持ってきて、学校の伸びた草の場所を刈ってたんですが、男性の方がいなくなりまして、私たちが話し合ったんですが、市の草刈りのシルバー隊の人たちを、頼んで、自分たちが花壇やって、草刈の人を 2～3 人来てもらえば学校のお手伝いになるかなと、シルバーの人たちを頼むことができるだろうかっていうことで、今日参りました。

●市長

はい。ありがとうございます。さっきの「ともに創る」をまさにね、皆さんやっていたいて、そうやって地域の子供たちのために御活躍いただいているのは大変ありがたいですし、ちょっと学校と話をしてみますので、多分、そんなに難しくない工事であれば、全然つけられると思いますので、花壇のちょっと現地を見て、どういうところだったらつけられるか、学校は予算ないでしょうから、そういう追加の。それはちょっと市の方で工面したりできるんじゃないかと思いますが、まあ、そもそもね、確かに花壇のそばって大体水道ある気がする

んですけど、無いんですね。ので、ちょっと現地確認を学校とも相談の上でして、また御連絡したいと思いますので、あとは芝刈り、それはそうですね。なんか芝刈り本来必要なものは市でやりますので、ボランティアの皆さんにやっていただけるのは大変ありがたいのですが、やっぱりね、必要な芝刈りは、というかその必要な剪定であったり、そういうことはやりますが、まず、PTAの奉仕活動とかでもなかなか追いつかないんですかね。

○参加者 2

PTAのほうは、毎学期ごとに、集まってやってるんですね。もういろいろなグループがありまして、しんせつ会とか、あと、老人、この私達の会とか、それで、もう、みんなで作ってるんですが、もう草のほうが勢いが強くて、

○木村清隆議員

上郷小学校は今もひどい状況ですけれども、PTAの奉仕作業もあるんですけど、あと良心会っていうOBの方々がそちらでもいろんな機材を持ち込んでやっているんですが全然間に合わない。だから緑のボランティアの方のほうで草取りとか花壇の方も、見かねてやっていただいたんですが、今のような状態で。そもそも予算のほうが回りきらないんですね。で、みんな、OBの方々、自前で持ち込んでやっていただいている状態ですね。

●市長

予算がそもそも足りてないのかなあ。それはなあ。

○木村清隆議員

今現状もすごいグラウンド荒れてて子供たちとともにグラウンド使えないのが今現実ですね。夏休み前だって。

●市長

なんでなんででしょうね。

○木村清隆議員

草刈りや芝刈りが間に合わない。以前は良い悪い別にして、教頭先生、校長先生が常用の芝刈り機でやってたんですけども、今なかなかできる先生いなくなっていますので、帰りにちょっと見ていただきたいんですけども、ひどい状態ですグラウンドが。廃校になっているグラウンドなの？って大げさじゃなく、そんな状態にまでなってます。昨日ちょっと見たところなんですけども。

●市長

なんで上郷だけそういう状況になっているのかなあ。なんか、そうですね。

○木村清隆議員

後で言います理由はあって。

●市長

そうですね、なんかあるんですよ。はい。ちょっと、必要な予算はつけますし、そうですね。あとは、いろんな皆さんのお力も借りながら、やっぱりシルバードどうするかの前に、もう本来は市の責任だと思いますので、何か皆さんにあまり御負担ばかりおかけしてるんじゃないくて、市でもちゃんと状況確認して、どんな方針があるかっていう、ちょっと探してみたいと思います。

○参加者 3

上郷活性化協会の参加者 3 です。普段しゃべってないところの質問を。文化財と歴史について、実は、市長も御存知の、例えば角内の集落センター。あそこはもともと陣屋跡ですよ。それと人足寄場の跡でもある。東から来ると、ちょうどサインが 1 個あるんですけど、それが人足寄場跡っていうサインが 1 個だけ、古い見にくいサインがある。矢印がついています。それは私が 15 年に 1 回戻って来た時に一番最初見ていたところと全く変わっていないんですけども、行くと、どこが人足寄場かわからないです。で、サインがあって、その場所行く場所に、その歴史とか、そういうサインとか、要するに看板とか、何もないです。我々角内で、例えば竹垣代官の紙芝居とか、やってますよね。ああいうのをちゃんと残していくってのは非常に重要です。それ角内の話なんですけども、これ、いざまた金村別雷神社に行きますと、そちらのサインも、見えないサインで、豊里町の時代のものすごく古いサインがよく見るとあるんですけど、神社の説明ですね、例えば、茨城百景だったり、関東三雷神の一つだったり、そういうのがあります。もう一つ言っちゃうと今度、本殿とかっていうのが、手前が市の指定文化財、真ん中の本殿が県の指定文化財になっているんですけど、手がつけられていないんですね。最近我々の会では、そこでいろんなイベントやりますけども、よく見ると本当に昔作ったものがいっぱいあります。この間見たんです実は。すごい壊れているし、実際に日光の東照宮等々をやってくれる、直してくれる業者さんもちょっといたので、そういう写真撮ってですね、ものすごく重要な貴重な文化財になっているというお話を聞いてますので、そういったところをちゃんと

修復をちゃんとすると。極端に言うと、土手の中にある神社って、全国でめちゃくちゃ有名な珍しい神社なんですよね。そうすると、これ最終的に先ほどの観光にもつながるんですけども、実際に茨城県の中で、筑波山の地域、ジオパーク及び上郷ジオサイトって言ってるわけですから、そこの整理っていう事業も、文化財を含めたものを含めてやらないと多分綺麗にならないですよね。ということで、最初に竹垣代官のお話しましたけど、あそこにも碑がありますね石碑。石碑の説明は、協議会で作った立て看ですね、はい。そういうのが結構いっぱい出てきちゃってるんですよ。それ言っちゃうと上郷小学校の入口にある石碑、渋沢栄一が書いた、石碑があるわけですね。そうするとそこも本当はPRしなくちゃいけないんですね、渋沢栄一が書いて、土田右馬太郎さんが発注した石碑が見つかりましたと。それも実際に、すごい貴重な財産ですよね。そういったものがちゃんと歴史上で出てきてて、昭和2年にできているものなんですけども、そういうのをちゃんと残していくことによって、上郷地区にはそういう歴史上の残すべきものないしは文化財になりえるもの、いっぱいあるわけですね。それを我々が今協議会で残そうとして紙芝居を作ったツアーですね、今度の日曜日、実は道角の集落センターで、お二人さん入ってますけど紙芝居やるんですが、実際要請受けましたので、そういうふうに伝えてく話をやってるので、できたらそういう文化財に関するものも、もうちょっとしっかりと見ていただいて、ちょっとお金かけないと多分できないです。で、金村別雷神社、2030年には1100年祭をやる予定になってるそうなので、綺麗にしたら、観光にも結び付く。そして、最終的にはここに陸上競技場ができて、ないしは、今やっているアグリロードの延伸で橋を架けると、今度、東西交通が良くなって、観光にも全部結び付く話なので、ぜひまずその文化財になっているところ、ちょっともう一度確認していただいて、ちょっとお金かけないとできないところ結構ありますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ってます。

●市長

はい。本当に地域を知る意味でも、またね、地域の子供たちが学んだりして、それでまたますます地域を好きになっていくなんていうのも。まず、案内の方は、比較的、やりやすいところだと思うんですね、まずはね。これこれこういう由来のものですとか、これこれこういうものですってのは、確かに今、各地にね、町村時代にできた看板みたいなのが、ボロボロになって残ったりしてるのもあったりしますので、そういうのは、逆にちょっと「この辺こうしなよ」みたいなこと言っただけしたら、多分できることって結構すぐあるのかなと思います。雷神様の修復については、今お話のように県指定、市指定だったりして、まあ県指定だと補助金が、県半分市が1/4、神社が1/4とか、そういう仕組みがありまし

て、お話あったように、1100 年祭で、結構そこに向けてこれから大規模な修繕というのを、宮司がやられようとしてると思いますので、それは市も応分の負担をして、一緒にサポートをしていきたいなと思っています。どこを優先とするかというのは、多分、専門家の見方をやって、結構ね、氏子さんがたくさんそういうときに寄進するということはあるんですけど、なかなかこれもね、氏子さんもちよっと減ってきているでしょうから、それで全部というのも大変だと思いますので、ちゃんと、市としても指定させていただいてる部分については、それなりの負担をして、どういうところから直していこうと、それに加えてやっぱり、誘導であったりとか案内であったりとか、そういうものを、丁寧に一つずつ改善していくことで、確かにこう、ああいう構造の神社というのは、私も、少なくともあまり知らないですし、とても不思議な、不思議と言うとあれですかね、特別な形だなと思ってます。そういうことをもうちょっと、もっと売り出してもいいかもしれないなと思いましたし、ぜひいろいろ御相談しながら、やっていきたいと思っています。指定文化財になってないところだななかなか市としてもお金出せないの、それは神社に出していただくしかないんですけども、その指定部分について見ていくことを一緒に考えていければいいなと思いますけれども。是非どんどん物語をそこで紡いでいただければと。よろしくお願いします。いつもありがとうございます。

○参加者 4

はい、上郷の参加者 4 と申します。上郷活性化協議会では会計を担当しまして、昨年、初めて、満額の 50 万円補助金をいただきまして、ありがとうございます。はい。今日はそれとは別ですね。

●市長

厳しくてすみません。

○参加者 4

いえ、防犯についてなんですが、実は半月前、15 日前、6 月 13 日なんですけど、私の家のすぐ南側に芝畑がありましてその隣の家なんですけども。高齢の女性が 1 人で住んでまして。そこに泥棒が入ったんですね。たまたま 2 階に寝っていて、1 階だけしかね、荒らされなかったのでもあ 2 万円くらいとられたって言うてたんですけど。ほぼ上郷地区なんですけど、ここはもう、今年度に入って、もうかなりの数、この前、駐在さんにも聞いたんですよ。駐在さんは 10 件ぐらいもう把握してるってのは聞いて。

●市長

空き巣ですか？空き巣というか押し込み強盗ですねそれ。

○参加者 4

強盗にはなってないんですけども、空き巣とかね、夜間の。私の家を中心に半径 800 メーターぐらいの中でも、5～6 件わかったんですけども、やはりこう、地元の木村議員さんなんかも防犯カメラの設置とかね、働きかけをいただきますけど、やっぱり防犯面でやっぱり田舎にも昔はね、鍵なんかかけていかなかった、全然ね、そういう泥棒なんかはなかったんですけども、こういうところでもかなり今そういう危ない目に遭う人がいるので、防犯カメラの設置とかあとは、ちょっと巡回パトロールとかですね、何かそういうことがね、可能であれば、中心だけでなく田舎の方のやっぱり防犯についても、取り組んでいただけたらと思うんですけど。以上になります。

●市長

はい、御案内のように防犯カメラの補助金を新しく作ってですね、今順次区会の皆さんに使っていただいている、多分、上郷でもそれなりに申請していただいているんじゃないかと思うんですが、一つの抑止効果にはなるとは思っています。ただ、あくまでもね、それは抑止的なもので、その他の防犯の取り組みをどうしていくかという、市でまず直接的にできるのは青パトをもうちょっとぐるぐる、これ実際やってもらっていて、例えばなんか車の盗難があった場所なんかは重点的にしばらく回るとかですね、ちょっと続いてるところは積極的に広報をして、青パトでぐるぐる回るなんてのもあったりしますが、そうですね後はもう、本当に、ちょっと家庭の防犯を、より力を入れたことも同時に重要だと思って。例えば鍵とかを、最近の 10 件でかかっていたのか、かかっていなかったのかわからないですけども。

○木村清隆議員

裏口のガラスを割られてるんですよ。10 件っていうのもほとんどがそういうふうに壊されて入られてますので。

●市長

同じ人なのかなじゃあ。同じ犯人なのかなやり口が一緒だとしたら。そういうものをね、どう防いでいくかっていうのは確かに。割って入るようだとね。それなりに技術もあるでしょうから。そうですね警察ともよくちょっと相談をしつ

つ、決して中心部だけやってるとかではなくて、むしろ、特に防犯カメラの要望は、周辺から多かったのが新しく作ったものですので、こういうのをやっていただくのと、あとほんとね、自警団だったりなんだったりっていうのとまあ活動を手厚くしていただくとか、こういうところですかねえ。防犯カメラだけではやっぱり防げないところがね、あるでしょうからねえ。犯人まだ捕まっていないんですか。その、やってる、そうですか。ちょっと警察 OB もたくさんいますので、相談して、もちろん青パトを、もしそこまで今あるなら、より重点的に上郷に行ったり、他のちょっとエリアの犯罪発生率も見なくちゃいけないんですけど、というところから始めていきたいと思いますが、そうですね。もうちょっと抜本的な対策をしないとなかなか大変なんでしょうけど。悩ましいところですね。なんか、頑張っと思って考えます。ありがとうございます。

○参加者 5

かすみがうら市から来ました。つくばでフリースクールをやっている参加者 5 です。よろしくお願いします。先ほどのお話の中で、居場所づくりだったりとか今、部活動地域展開の方に力を入れているということで、日頃から当校のほうにも御理解、御協力いただきありがとうございます。当校の方で新しい事業で、部活動地域展開を進めるために、まずは中高生を対象としてゆくゆくは小学生から高齢者の方まで、入れるようなマルチスポーツを実施できるようなスポーツサークルっていうのを、主につくば駅だったり、研究学園駅エリア周辺で、今後展開できたらなというふうに考えて今活動しています。それでですね、市長の方で、今後のつくば市での教育だったり、加えて部活動地域展開に関しての展望だったりっていうのがあれば、お聞かせください。お願いします。

●市長

はい。ありがとうございます。フリースクールをやられている。今もう既に。うちの補助金もじゃあ使ってもらっている。

○参加者 5

そうですね、はい。うちに来ている生徒さん児童さんは今、補助金を使っている、この 7 月 1 日で 1 周年になりますね。

●市長

ああ、そうなんですね。よかったよかった。ありがとうございます。部活の地域展開は、まさに今、どういう形を作っていくかという議論をしているところな

んですね。今、実際、つくばでうまくいってる学校とかエリアっていうのは、うまくいってるようには見えてますけれども、それでもそこも苦労しているわけです。みどりのなんかモデル地区になってますけれども。他のとこだと、例えば、それこそ、サッカーは、今年は並木中の中二と豊里の中二が少ないから、そこで大会で合同チーム作ろうみたいな、そういう本当個別のマッチングをしなくちゃいけない状況で、とてもしんどいです。とてもしんどい中で、ただ、何かこうね、部活を土日地域でやればいいとか、そういう先生の働き方改革とかね、その文脈だけでやっていったら、誰も幸せにならないんだろうなと思っています。僕自身は、やっぱり地域の、展開の先には、地域の総合型のスポーツクラブの形で、もう子供たちが、別に部活ではなくとも、いろんなスポーツを経験できるような場所が、地域地域にあってですね、ドイツのモデルをお手本に考えてますけれども、それなりのチームもあったりして、繋がっていくような形までいけばいいと思っていますが、そこに行くにはちょっとまだ大変なので、やっぱり受け皿が地域のスポーツクラブなどであるということが最初だと思っています。そこに年齢を問わず、いろんな世代で、子供だけじゃなく、高齢者も、例えば日中はそこで体を動かしたりスポーツを、それこそマルチスポーツを楽しむっていう。で、学校が終わった時間はまた若い世代がそこに入ってきて、それなりにトレーニングを受けた指導者から指導を受けながら、競技力の向上もできると。結果としてそれが地域のコミュニティとして成長していくというのが、地域展開の目指すところだとは思っているんですね。ですので、もしすでにね、そういうまさにマルチスポーツで地域展開の受け皿になろうとしてくださってるのであれば、ぜひやっていただきたいと思いますし、並木中エリアになるのかな、そしたら。

○参加者 5

そうですね、今のところ研究学園圏エリアなのかなというふうに思ってるんですが、ちょっと場所がどうしても、目途が立ってなくてというところですね。

●市長

なるほど、そう。それをね、学校に行って教えるタイプなのか、それも地域で場所を使ってやるのかとかいろいろなパターンがあるとは思いますが、そういう皆さんとの連携の方策を今、個別じゃなくて、市全体でまとめないとね、という議論をしているところです。これから、要するに今、各学校、みんな個別にバラバラに、じゃあ自分で探してここお願いしますとか、誰も全体像を把握できてないんですね。個別にはみんなわかってはいるんですけど。そうじゃなくて、もう統一した枠組みを市で作らないともう無理じゃないのこれは、というところで議論をしています。ですので、市の部活の地域展開を、全体を見るような、

組織なのか、チームなのか、そういうのを立ち上げて、そこから各学校の状況などの情報共有しつつ、この地域にはこういうクラブがあるよねと。この地域は、ここが頑張ってるよねみたいなのを、できるだけスムーズにつなげられる仕組みを作りたいなど。もうちょっと議論、議論というか内容詰めているところなんですけど、そういうものができたらそのプラットフォーム加わってもらえるといいかなというふうに思います。お答えになっているでしょうか。

○参加者 5

はい。実は先日、学び推進課さんのほうでお声掛けいただいた部活動地域展開の会議の場には、お邪魔させていただいて、こういったことをやろうと思ってるんですっていうお話はさせていただきました。現在場所探しですね、今、お話にあったように、学校でやるのかっていうところでなんですけど、スポーツというところで、実施する場所っていうところをどこにしようか。例えばこう、どこに、働きかけをしたらその場所の確保ができるのかっていうところで、手詰まりかなっていう状態です。

●市長

そうですね、だからほんとね、要素が、幾つも組み合わせさせてようやくできるので指導者の問題もあれば、場所の問題もあれば、逆に子供がいなかったりかね、そういうこともあったりします。本当にうまくそこを、ピースをはめていくことがすごく大事なので、その枠組みを作っていこうとしているところですので、是非引き続きちょっと、あんまり時間もかけてられない問題だと思っています。これもよく言われますけれども、3年かけたらもうその中学生卒業しちゃいますからみたいな話で。スポーツをする環境をちゃんと、子供に提供できるように内容を詰めているところです。引き続きよろしくお願いします。

○参加者 1

すみません、もう一つ良いでしょうか。図書館分館といいますかね、豊里地区に無いんですよ。学校に自動車図書館はまわしていただいているんですけども、やはりこちらから中央図書館までっていうのはかなりの距離がありますし、交流センターの図書室も広くもないですし、本の冊数も多くありませんし、何か、もう少し本をたくさん置いていただいて、そこが居場所になる、本があって、子供が来やすい。交流センターは、ちょっとやっぱり子供が歩いてくるとか、自転車ですっていうには、難点があるのかなって思うんですが、新しくできた学校ありますよね、あの山新のそばの。あそこは、そういう図書室の、開放していただいている、例えばその上郷小学校、学童数も減ってますので、場所としては、

空きがあるかなと思うんですね。上郷あたりに作っていただけると、沼崎の方は割と図書館まで近いですから、今鹿島の方も、不便といえば不便なんですけど、上郷が一番西の端で、是非、もうかなり以前から分館を作って欲しいという願いは出していたんですが、御検討いただければありがたいです。

●市長

はい。研究学園の小学校などは、今お話あったように、私が市長になってから設計をした学校はすべて、もう最初から地域利用にしているんですね。だから1階に図書館や音楽室や家庭科室を置いて、もう最初から週末とかは、地域の人が見えるような設計に、私が設計から入ったところはやりました。で、それどういうことかという、セキュリティを分けられるんですよ。学校って、やっぱりね、犯罪が起きてはまずい場所ですから、普段子供たちが生活している場所に忍び込めるような環境になってしまうとやはりまずいので、そういう図書館とかそういうエリアだけにアクセスできるような、シャッターとかですね、そういう配置をしたので、今研究学園なんかではできるんですが、もちろん上郷小の設計の段階ではそういうのは、多分できてないので。

○参加者1

そうしますと、今度、陸上競技場できますね。あのスペースの一角に、そういう場は作れませんか。

●市長

地域の皆さんのコミュニティのスペースというのは作ります。作りますが、そうですねそこが、本があっても確かに言われてみれば良い案ですが、そんなにでも広い場所ではないので、多分、本をバツと、図書館的に入れてしまうと、皆さんが会議をしたりする場所がちょっと逆になくなっちゃうのかもしれないですね、どうなんですかね。あんまりね、そこまで広くはないですよえ。

○参加者1

子供たちが自由に使える場としても、どこかにそういう、そんなに費用はかからないと思うんですね。

●市長

上郷小って、図書館何階にあるんですか。

○木村清隆議員

3階。

●市長

3階か。ここ？（※上郷児童館）ここももっとちょっと充実させますかね。

●市長

ここはできそうだね、もうちょっとね。ここ土日も、もう開放をして、とか言って児童館長が毎日ボランティアでそこに。そうですね。こういう、でもここ普段は結構あれですか、ホールで、活動もいろいろ、あるから、あれなのかな。

○上郷児童館館長

子供たちが学校から帰ってきた3時頃から6時ぐらいまでは、子供たちのカフェスペースになっておりますが、午前中とか。

●市長

そうですね。ちょっと、いやそういうたまり場を増やしていくというのが、今のつくば市の政策ですので、地域にできるだけ近い場所で、ふらっと行けるような場所をどれだけ増やすかなので、ちょっと中で揉んでみますので、そうですね、こういう歩いて来られる場所が一番いいと思いますし、追加のお金もね、そんなにかけられないでしょうから。

ちょっと、いろいろ考えてみたいと思います。貴重な御提案ありがとうございます。